

テーマ：観光（実践校）

十勝管内 陸別町立陸別小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間「陸別ふるさと科」において、地域の歴史や風土について調べる活動を位置付けるとともに、地域の特性を生かした町内行事である「しばれフェスティバル」への参画を通して、地域の人々の工夫、これからの地域資源の活用方法などについて探求的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用し、「寒さ（しばれ）」をテーマに学年の発達の段階に応じた探求的な課題を設定しました。特に、高学年においては、観光資源を町の取組に生かす視点で課題を設定しました。



【しばれ出前授業の様子】

(2) 情報の収集

陸別町では、今年で40回目となる冬の寒さを観光資源とした「しばれフェスティバル」を毎年開催しています。高学年において、町の実行委員の方を外部講師として招聘し、誕生の背景や地域の人々の思いについての講義を受けたり、大学教授を講師として招聘し、陸別の気候の特性について理解を深めたり、しばれバルーン作成について体験したりすることを通して、課題解決に取り組みました。



【しばれバルーン作成】

(3) 整理・分析

陸別町の観光資源について、集めた情報の整理・分析を行うことを通じて、地域の観光資源としばれフェスティバルを関連付けて学びました。

(4) まとめ・表現

第5学年は陸別町の特長について調べたことをまとめた「しばれ新聞」を会場内に掲示し、第6学年は「陸別の紹介」のしおりを来場者一人一人に声を掛けて手渡すことを通じて、陸別町の自然や歴史に基づく観光資源について広報活動を行いました。また、第6学年は他県の小学生とのリモート交流学习の中で、第5学年時に作成した「しばれ新聞」を使い、陸別町の特長について発表・交流しました。

②児童の感想等

- ・町の特色である寒さを生かして、しばれフェスティバルを始めたところがすごいと思った。
- ・交流学习を通じて、今後は他地域の観光資源についてさらに調べていきたいと思いました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 探求的な学びのプロセスに「しばれフェスティバル」への参画を位置付けたことにより、学習後のアンケート調査では、「北海道や自分達の住んでいる地域は、好き」と回答した児童の割合が90%を、「今、住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が80%を超えました。
- 教職員の働き方改革の観点から、学校運営協議会における熟議を通して内容等を精選し、地域学校協働本部と連携した取組を推進していく必要があります。